

アートマイル国際協働学習プロジェクト

令和4年11月11日(金) 2年1組・2組教室 2年1組・2組48名(男子22名 女子26名)

1 単元について

(1) 単元観

アートマイル国際協働学習プロジェクトは、海外の生徒と協働的に一枚の壁画を完成させることを通して、SDG14「海の豊かさを守ろう」の達成のために自分たちにできることについて考え、実行していく活動である。異なる文化背景を持つ同世代と交流することで多様性を学び、また、身近な地域から課題を見付け、その課題について情報を収集し、それらを整理・分析したり、それらを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、明らかになった考えや意見をまとめ、表現するという探究的な学習の過程を経て、生徒の問題解決力を育成することができる単元である。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、昨年度SDGs17の目標について学習し、SDG2「飢餓をゼロに」や、SDG12「つくる責任つかう責任」の達成に向けて、自分で手作りの弁当を作る「弁当の日」の活動や、地産地消をテーマに給食のメニューの開発を行った。SDGsの達成のためには、一人一人の小さな行動を積み重ねることが大切だということを、体験を通して学ぶことができた。

本単元の学習に当たり、事前に行ったアンケート(令和4年6月14日実施23名回答、欠席1名)の結果は次の通りである。

質問	肯定的回答
SDGsとはどのようなものか理解している。	89%
総合的な学習の時間では、課題の解決に向けて自ら行動しようとしている。	82%
授業では、班などのグループの中で自分の考えを積極的に伝えている。	63%
ChromebookなどのICTを用いた学習が好きだ。	60%

「総合的な学習の時間では、課題の解決に向けて自ら行動しようとしている。」の項目に対して、肯定的な回答が82%であった。一方で、「授業では、班などのグループの中で自分の考えを積極的に伝えている。」の項目では、肯定的な回答が63%にとどまった。これらの結果や、授業での様子から、課題の解決に向けて自ら行動しようとするができる生徒は多いが、グループの中で自分の考えを伝え、協働的に課題に取り組むことに課題があることが分かる。

(3) 指導観

本単元では、「SDG14『海の豊かさを守ろう』達成のために自分たちにできることを台湾の学校と協力して考え、壁画を完成させよう。」という目標を設定し、生口島に住む生徒にとって身近な海を守るための活動であることを確認して、学習に対する意欲を高めさせたい。

単元を通じて、①インターネットで海に関する情報を収集する。②集めた情報を相手に伝わるように整理・分析する。③解決のために自らプロジェクトを計画・実行する。④プロジェクトの結果をまとめ、台湾の生徒と共有する。⑤台湾の生徒と世界に対してどんなメッセージを伝えていくか検討する。⑥壁画を制作し、世界に向けてメッセージを発信する。といった学習活動を設定し、問題解決力の育成を目指す。

また、本単元の学習活動を自分たちで海を守るため企画・実行していくプロジェクトと位置付ける。生徒自身が瀬戸田の海の調査活動から得た課題意識をプロジェクトの起点とし、瀬戸田の未来と自分自身と関わりを考えるようにすることで当事者意識をもち、主体性を発揮して活動できるようにする。

加えて、事前調査においてICTを用いた学習に対して否定的な回答を行った生徒が40%いたことから、ICTを活用する場面を取り入れ、ICT機器を活用する良さを実感できるようにする。具体的には、台湾の生徒への自己紹介や海についての学習成果を備えたGoogleスライドでまとめたり、壁画案の改善点を整理する活動を共同編集機能をGoogleジャムボードで行ったりする。

(4) 単元の目標

SDG14「海の豊かさを守ろう」について学んだことを台湾の生徒と交流し、成果を壁画にする活動を通して、海に関する問題が相互に関連していることを、世界の状況に目を向けることで理解し、調べたり交流したりしたことをもとに問題点や解決策を考え、それらを壁画にして表現することを基に、他者と協力しながら行動・発信しようとするなど、自ら解決に向けて取り組むことができるようにする。

(5) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、次の資質・能力の育成に重点を置いている。

①言語・数量・情報 ②問題解決力 ③情報活用力 ④コミュニケーション能力 ⑤主体性・協調性

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

②問題解決力

導入では、瀬戸田の海について調べたことから生じた課題意識から「SDG14『海の豊かさを守ろう』の達成のために、台湾の生徒と協働学習を行い、その学習の成果を一枚の壁画に描き起こす」という本単元のゴールを設定し、見通しをもちながら、自分たちで計画を立てて活動できるようにする。次に、インターネット等を用いて、世界の海の現状と問題について情報を収集する。その後、クラス内での発表会に向けて相手に伝わりやすい情報という視点で整理・分析を行う。さらに発表会での他者からのフィードバックを基に更なる情報の精選を行う。それらの学習の結果をもとに、問題の解決のために、自分たちにできるプロジェクトを立案・実行する。これらの成果や学習した内容をスライドに整理し、まとめて台湾の生徒に送信することで共有する。最後にお互いのスライドをもとに、SDG14達成のための今後の取り組みについて議論し、壁画を通して世界に発信したいメッセージを3つ決定し、それらを壁画という形で表現する。「海の豊かさを守る」という目標に向けて、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究的な学習の過程を経て、生徒の問題解決力を育成したい。

⑤主体性・協調性

本単元では、生徒自身の解決したい課題を出し合いながら、「瀬戸田の港周辺のごみ拾い」「海を守ることを呼びかけるポスターの掲示」「小学校でSDG14の出前授業」「校内でのSDG14に関する新聞の発行」の4つのプロジェクトを設定する。生徒自らがプロジェクトを協働しながらアイデアを出し合い実行していく過程で当事者意識をもって主体性を発揮して学習に取り組むことができるようにする。また、4つのプロジェクトの学びをプロジェクト班・翻訳班・読解班・壁画班という4つの班に分かれてスライドにまとめ、台湾の生徒と協働学習を行う。台湾の生徒との協働学習は、新たな思いや考えにふれる貴重な機会となる。お互いに思いや考えを伝え合っていく中で、相手を受容するとともに、自らの思いや考えを伝えて、パートナーシップを築き、積極的によりよい解決方法を模索することが期待できる。

(6) 本質的な問い

○人間が地球に住み続けることができ、かつ幸せな未来を実現するために、自分たちにできることは何だろう。

(7) 単元を貫く問い

○SDG14「海の豊かさを守ろう」の達成のために、壁画にどんなメッセージを込めると良いだろう。

(8) 個別の問い

- 現在、海はどんな課題を抱えているだろう。
- 海の豊かさを守るために、どんな取組が行われているだろう。
- 海の豊かさを守るために、世界の人々と協力して実行できることは何だろう。
- どんな壁画にすれば、海を守るためのメッセージを世界に向けて発信できるだろう。

2 単元の評価規準

観点	ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>① 世界の自然環境は人間の生活の変化とともに変わるものであり、持続可能な環境の実現には多様な問題が存在していることを理解している。</p> <p>② 調査活動を、目的や対象に応じた適切な方法で実施している。</p> <p>③ SDG14 について探究的に学習してきたことで、海に対する認識が高まったことに気付いている。</p>	<p>① 自分の生活を見つめ、SDGs17の目標のうちどの目標の達成のために学習を行うか考え、課題の設定を行っている。</p> <p>② 地域の自然環境への関わりを通して感じたことをもとに、見通しを持ってプロジェクトを計画し、実行している。</p> <p>③ アンケート結果をもとに、メッセージがより伝わる壁画にするための改善案を考えている。</p>	<p>① 課題解決に向け、自分の特徴やよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 自他の意見や考えのよさを生かしながらSDG14の達成に向け、協働して学ぼうとしている。</p>

3 指導計画 (35時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 【観点】 (評価方法)
一	1 〜 3	1. 学習の見通しをもつ。	<p>○ 昨年度取り組んだ SDGs に関する学習 (弁当の日, 給食メニュー開発) を思い出させ, 本年度はもっと視野を広げて, 世界に目を向けた学習を行うことを確認し, 自分たちの住む瀬戸田をより良くするために何をしたいか話し合う場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸田といえば海だから, 海に関わる活動を行いたいな。 観光客が多いので, もっと観光客に来てもらうためにどうすればいいか考えたいな。 	【イ①, ウ①】 (授業態度, 振り返りシート)
		2. SDGs の 17 の目標の中から, どれをテーマとして選ぶか決定する。	<p>○ 17 の目標をカードにして, 班で自分が大切だと思う順に並び替えることで, テーマの決定につなげる。</p>	
		めあて: アートマイルについて知り, SDGs の 17 の目標の中からテーマを決めよう。		
		3. 昨年度のアートマイルの壁画や, 制作風景を見て活動のイメージをもつ。	<p>○ 昨年度の制作風景を動画や画像等で提示し, 壁画の完成イメージをもつことができるようにする。</p>	
		4. テーマを決定し, 今後の見通しをもつ。	<p>○ SDG14 「海の豊かさを守ろう」と関連付けながらテーマの確認を行うことで, 活動の目的を確認できるようにする。</p>	
【単元を貫く課題】 SDG14 「海の豊かさを守ろう」達成のために自分たちにできることを台湾の学校と協力して考え, 壁画を完成させよう。				
	5. 振り返りを行う。	<p>○ アートマイルの今後の流れを参照しながら, 次時以降の学習の見通しや課題意識をもつことができるようにする。</p>		

二	4 5 7	<p>1. 交流相手の台湾について、知っていることを確認する。</p> <p>2. 台湾の歴史や文化について学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本とも親交がある国だとテレビで見たよ。 ● 名前は聞いたことがあるけどあまり詳しいことは知らないな。 ○ 台湾の歴史や文化を、日本との比較を交えながら、台湾は日本にとって昔から友好的な国であることを実感できるようにする。 	
めあて：台湾について学習し、お互いに自己紹介をして相手のことを知ろう。		<p>3. 台湾の生徒からの自己紹介動画を見て、相手のことを知る。</p> <p>4. 自己紹介スライドを作成し、相手に自分たちのことを伝える。</p> <p>5. 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要に応じて翻訳機能を活用し、動画の内容を理解しやすくする。 ○ 相手と親睦を深めるためにはどのような視点でスライドを作成すればよいか交流しながら、内容面の工夫（自分の趣味や特技を伝え合う等）や表し方の工夫（色やイラストの活用）ができるようにする。 ○ 計画を参照し、次の見通しがもてるようにする。 	【ウ②】 (授業態度, 振り返りシート)
三	8 9 12	<p>1. 瀬戸田で暮らし、海と親しみながら生活する中で、海でどんな問題が起きていると思うか、これまでの海との関わりを想起しながら交流する。</p> <p>2. SDG14「海の豊かさを守ろう」について、現在地球上で起きている問題について調べる。</p> <p>3. 調べた問題を4つに分け、班ごとに選んだ1つの問題について選択し、Google スライドを作成する。</p> <p>4. 作成したスライドを用いて、クラス内で発表を行う。</p> <p>5. 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年の夏に海に行ったとき、たくさんのゴミが落ちていたな。 ● 最近魚の獲れる量が減ってきていると、親戚が言っていたよ。 ○ 前時までの学習内容を確認し、SDG14「海の豊かさを守ろう」について学習を深めていくことを確認させる。 	
めあて：海でどんな問題が起こっているのか知り、その解決策を考えよう。		<p>2. SDG14「海の豊かさを守ろう」について、現在地球上で起きている問題について調べる。</p> <p>3. 調べた問題を4つに分け、班ごとに選んだ1つの問題について選択し、Google スライドを作成する。</p> <p>4. 作成したスライドを用いて、クラス内で発表を行う。</p> <p>5. 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書籍や Chromebook でインターネット検索等を活用して情報を収集させる。 ○ 生徒の課題意識から（例）「水産資源の減少」「海洋の温暖化」「海洋の酸性化」「海洋汚染」の4つの問題を設定し、自らの課題意識を活動へとつなげる足場を作る。 ○ 発表を聞く人には、自分の班が調べた問題以外のものについて、「分かったこと」と「疑問に思ったこと」をプリントに記入させる。 ○ 生徒の選択した4つの課題について、共通点を確認することを通して、関連していることに気付かせ、次への課題意識へとつなげる。 	【ア①, イ②】 (作成したスライド, 発表の内容, 振り返りシート)

<p style="text-align: center;">四</p>	<p style="text-align: center;">13 5 18</p>	<p>1. 前時までの調べ学習で学んだSDG14「海の豊かさを守ろう」に係る課題について再確認した上で、その課題を解決するために夏休み中に考えてきた各自のプロジェクトを発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互いのプロジェクトに対して質問や意見を行いながら、課題の解決に向けた実行的なプロジェクトについて考えることができるようにする。 ● 僕は瀬戸田の港周辺のごみ拾いをしたいと思ったよ。 ● 小学生に対してSDG14を伝える授業をしてみてもいいかな。 	
<p>めあて：SDG14達成のためのプロジェクトを計画・実行しよう。</p>		<p>2. 夏休みの宿題として考えてきたプロジェクトの中から、効果的で実現性の高いものを4つ選択する。</p> <p>3. 4つのグループに分かれて、各プロジェクトを実行する。</p> <p>4. 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ SDG14の達成に自分たちの力で貢献できるものという視点を設定し、検討及び投票をすることで、自分自身が貢献できるプロジェクトを選択できるようにする。 ○ 調べ学習だけで終わるのではなく、プロジェクトが体験的な学びを伴ったものになるように促すことにより、今後の活動に主体的に取り組ませる。 ○ 各自がプロジェクトを行う中で感じたことや考えたことを、調べ学習で学んできたことと交えて確認させる。 	<p>【ア②, イ②】 (授業態度, 振り返りシート)</p>
<p style="text-align: center;">五</p>	<p style="text-align: center;">19 5 24</p>	<p>1. 台湾の生徒とこれまでの学びを共有するに当たって、どのような方法が最適か話し合い、決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 前時に行ったプロジェクトでの学習の様子や、それを通して思ったことを上手く伝えたいけど、すべてを対面で、さらに英語で伝えるのは難しそうだね。 ○ 既習事項や、前時のプロジェクトの様子と気づきを英語でスライドにまとめ、台湾に送ることでこれまでの学びを共有することを確認する。 	
<p>めあて：台湾の生徒とこれまでの学びを共有しよう。</p>		<p>2. 4つの班に分かれて、台湾の生徒と学びを共有するための活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班を設定し、各自が自らの課題意識に沿って、自己の能力を生かしながら活動できるようにする。 	<p>【ウ①②】 (授業態度, 振り返りシート)</p>
<p>プロジェクト班…プロジェクトの中でリーダーとして活動し、その成果と考えたことをスライド中に入れ、台湾の生徒に伝える。 翻訳班……………自分たちが前時で作成したスライドを英訳し、台湾の生徒に送る。フォーラムを用いて台湾の生徒とのコミュニケーションを行う。 解読班……………台湾の生徒が作成したスライドを日本語訳し、他の生徒にその内容を伝える。 美術班……………文化祭の準備と発表を行う。テーマの決定後、壁画の制作をする。</p>		<p>3. 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台湾の生徒に伝えたいことを分かりやすく伝えるために工夫した振り返りの視点として設定し、活動の喜びや達成感を共有できるようにする。 	

六	25 5 28	1. 前年度のアートマイルの作品を見て、どのようなテーマを基に作成されたのか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの壁画のテーマを想像させることで、今後の自分たちのテーマ設定等の壁画案作成の手助けとする。 ● この絵は両国の子供が手をつないでいることから、パートナーシップを大切にしたいという思いが感じられるね。 ● フィルムで過去から未来へ時間の流れを表していて、海をきれいにしていきたいというメッセージかなと思う。 	
		めあて：台湾の生徒と意見交換し、壁画のテーマとなるメッセージを決定しよう。		
		2. スライドを見てお互いに疑問に思ったことを質問する。 3. 日本と台湾の生徒それぞれが、海の豊かさを守るために自分たちにできることは何か、また、壁画を通して伝えたいメッセージは何か交流する。 4. 4つの班のリーダーを中心に、壁画のテーマとなる3つのメッセージを決定し、台湾の生徒に提案する。 5. 振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前にフォーラムを通して質問項目を伝え合い、回答を考えさせる。 ○ これまでの学習やプロジェクト学習を通して考えたこと、感じたことを元に交流することで、お互いのアイデアを取り入れながらプロジェクトがより充実したものとなるようにする。 ○ 台湾との意見交流や、これまでの活動を通して考えた事を参照することで、壁画を通して世界に発信するメッセージの決定へとつなげるようにする。 ○ 今後の流れを確認しながら、次時以降の学習の見通しや課題意識をもつことができるようにする。 	【ウ①②】 (ワークシート、振り返りシート)

七 (本時)	29 ～ 32	1. 本時の学習の見通しをもつ。	○ 壁画で伝えたいメッセージを確認し、見る人にそのメッセージが伝わるような壁画であることに気付かせる。	
		めあて：壁画のテーマであるメッセージが世界中の人に伝わるような壁画の改善案を考えよう。		
		2. 前時までの意見交流で決定したテーマを基に、美術班が仮の壁画案を考える。	○ メッセージをテーマとして、それが見る人に伝わるような壁画案を考えると、この視点を設定する。	
		3. Google フォームを使って、仮の壁画案に対するアドバイスをもらう。	○ 中学一年生、中学三年生、教職員、地域の方に回答してもらい、メッセージが伝わっているかどうかという点や、どう改善すれば良いかという点について意見をもらう。	
		4. Google フォームで寄せられたアドバイスを基に、壁画のどの部分をどのように変更するか決める。	○ すべてのメッセージについて、上手く表現できている点と、改善の余地がある点とを Google ジャムボードで整理させた上で、具体的な変更案を考えるようにする。	【イ③】 (ワークシート、振り返りシート)
		5. 変更案を基に、美術班が壁画案を修正し、壁画の制作に取り組む。	○ 改善案をもとに、グループで交流する活動を通して、修正案の視点を見出すことができるようにする。	
		6. 振り返りを行う。	○ 今後の流れを確認しながら、次時以降の学習の見通しや課題意識をもつことができるようにする。	
八	33 ～ 35	1. 完成した壁画を全員で鑑賞し、これまでの学びや活動を振り返る。	○ SDG14「海の豊かさを守ろう」の達成のためのメッセージという視点で作品を鑑賞し、これまでの活動に対する満足感や充実感を感じることができるようにする。	
		めあて：完成した壁画を台湾に送り、活動のまとめをしよう。		
		2. 完成した壁画に、手紙を添えて台湾の生徒に送る。	○ テーマとなるメッセージを、壁画のどこに取り入れたのか英語で説明する手紙を作成させる。また、壁画の残りの部分には台湾の生徒が取り組んだ内容を表現してもらおうよう伝えさせる。	【ウ①②】 (手紙、振り返りシート)
		3. 振り返りを行う。	○ SDG14「海の豊かさを守ろう」の達成に向けてこれまで取り組んできたことや、我々だけでなく世界の人々が手を取って目標の達成のために行動していかねばならないこと、今回の活動がそのための一歩となったことを確認する。	

4 本時の展開 (30/35 時間)

(1) 本時の目標

アンケート結果を基にして、今後に向けての成果と課題を見出し、メッセージ作成へとつなげることができる。

(2) 観点別評価基準

イ③アンケート結果をもとに、メッセージがより伝わる壁画にするための改善案を考えている。

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手だて (C)
アンケート結果を基に、壁画案の良い点と改善点を見付け、メッセージが伝わるような改善案を考えられている。	アンケート結果を基に、壁画案の良い点と改善点を見付けられている。	アンケート結果を基に、壁画案の良い点と改善点を見付けられていない。
記述例1 壁画案の良いと思ったところは、海の生き物が生き生きと描かれていて、「海の生き物の多様性を守ろう」というメッセージが伝わりやすいところです。一方で、「すべての国が手を取り合って海を守ろう」というメッセージが伝わりにくいと思ったので、様々な国の人を描き足すことで、世界の人々が国を超えて海を守っていくということが伝わるようにすることを改善案として提案しました。	記述例1 壁画案の良いと思ったところは、海の生き物が生き生きと描かれていて、「海の生き物の多様性を守ろう」というメッセージが伝わりやすいところです。一方で、「すべての国が手を取り合って海を守ろう」というメッセージが伝わりにくいと思った。	・班で活動を行い、生徒同士で教え合ったり共に考える時間を設けたりすることで、一人では思い浮かばないような優れた改善案が出るよう促す。

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 (評価方法) 配慮を要する生徒への支援 (◆)
<p>1. Google フォームで実施したアンケート結果を確認する。</p> <p>2. 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>○ アンケートの結果をグラフで提示し、読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちが考えた壁画案では、思ったよりもテーマであるメッセージが伝わっていない。 <p>○ 「身近な地域の人達に伝わっていない今の壁画案では、世界の人達にはメッセージが届かないのではないか。どうしようか。」と投げかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 壁画案を改善して、メッセージが伝わるようにしたい。 ● メッセージが伝わるようにしたいがどうしたらいいのだろう。 	
<p>めあて：アンケートの結果を基に壁画のテーマであるメッセージが世界中の人に伝わるような壁画の改善案を考えよう。</p>		
<p>3. アンケート結果を参考にしながら、Google ジャムボードを用いて壁画の良い点と改善点を挙げる。</p> <p>4. Google ジャムボードで挙げた壁画の改善点を基にして、どの部分をどう改善するのか改善案を出す。</p>	<p>○ アンケートでは改善案も聞いていることを伝え、それを参考にしながら、改善案を考えさせる。</p> <p>○ 2班を1グループにして、テーマである3つのメッセージそれぞれについて、壁画案の良い点と改善点を挙げさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「海の生き物の多様性を守ろう」というメッセージというメッセージはよく伝わっているね。海の生き物が生き生きと描かれているからかな。 ● 「すべての国が手を取り合って海を守ろう」というメッセージが伝わりにくいみたいだね。台湾と日本の協力する様子を描いたつもりだったけど、すべての国という点が表現できていなかったのかもしれないね。 <p>○ ワークシートに改善案をまとめ、発表のためにGoogle スライドにまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「海の生き物の多様性を守ろう」というメッセージをより伝えやすくするために、台湾の近海に生息する海の生き物も描きたいな。 ● 「すべての国が手を取り合って海を守ろう」というメッセージが伝わりやすいように、台湾と日本人だけではなく、さまざまな国や地域の人達も描くといいと思う。 	<p>◆アンケート結果を参考にさせることで、改善案を考える手助けとする。</p> <p>【イ③】 (ワークシート、振り返りシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ICT の活用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">瀬戸田シンキングタイム</div>

<p>5. 各グループがどんな改善案を考えたかを発表する。</p>	<p>○ グループの代表に発表させ、それ以外の生徒には発表を聞いた感想をワークシートに記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台湾と日本人だけではなく、さまざまな国や地域の人達も描くという意見は、自分の考えにはなかった視点だったけれど、すごくいいアイデアだと思う。 ● 台湾の近海に生息する海の生き物も描くことで、「海の生き物の多様性を守ろう」というメッセージが伝わりやすくなると思ったけれど、世界中の海の生き物を描くともっと伝わりやすいのではないかと思いついた。 	
<p>5. まとめを行う。</p> <p>6. 振り返りを行う。</p>	<p>○ 本時の学習活動を振り返り、どのような改善案が出たのかと、その改善案の良い点を再確認させた上で、次回から壁画の制作に入ることを再確認させる。</p>	
<p>壁画案の良いと思ったところは、海の生き物が生き生きと描かれていて、「海の生き物の多様性を守ろう」というメッセージが伝わりやすいところです。一方で、「すべての国が手を取り合って海を守ろう」というメッセージが伝わりにくいと思ったので、様々な国の人を描き足すことで、世界の人々が国を超えて海を守っていくということが伝わるようにすることを改善案として提案しました。</p>		

※□囲みで示した活動が、本時におけるシンキングタイムである。

(4) 板書計画

	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果の確認 ← ・ 壁画の良い点と改善点を挙げる。(シヤムボード) ← ・ 改善点をまとめ、発表の準備をする。(ワークシート→スライド) ← ・ 改善点の発表を行う。 ← ・ 振り返り ← 	<p>アートマイル</p> <p>めあて 壁画のテーマであるメッセージが世界中の人に伝わるような壁画の改善案を考えよう。</p> <p>【本時の流れ】</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

「本質的な問い」(カリキュラムを構成する質問の三つの階層)の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

校種・学年 中学校・第2学年

教科等 総合的な学習の時間

単元(教材)名 アートマイル国際協働学習プロジェクト

① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

○人間が地球に住み続けることができ、かつ幸せな未来を実現するために、自分たちにできることは何だろう。

② 単元を貫く問い (単元を通して考え深めていく「問い」)

○SDG14「海の豊かさを守ろう」の達成のために、壁画にどんなメッセージを込めると良いだろう。

③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)

○現在、海はどんな課題を抱えているだろう。○海の豊かさを守るために、どんな取組が行われているだろう。○海の豊かさを守るために、世界の人々と協力して実行できることは何だろう。○どんな壁画にすれば、海を守るためメッセージを世界に向けて発信できるだろう。

単元計画の構想を立てる

1. アートマイルについて知り、SDGsの17の目標の中からテーマを決めよう。
2. 台湾について学習し、お互いに自己紹介をして相手のことを知ろう。
3. 海でどんな問題が起こっているのか知り、その解決策を考えよう。
4. SDG14達成のためのプロジェクトを計画・実行しよう。
5. 台湾の生徒とこれまでの学びを共有しよう。
5. 台湾の生徒と意見交換し、壁画のテーマとなるメッセージを決定しよう。
6. 壁画のテーマであるメッセージが世界中の人に伝わるような壁画の改善案を考えよう。
7. 完成した壁画を台湾に送り、活動のまとめをしよう。